

自然感

# くすのき

yumi



季節感

小さく愛らしい黄色な玉がたわわに実り、良く目立つ時期になって来た柑橘類。微かな甘味と油分の皮、まろやかな酸味の実は子供の頃を呼びおこす…

『キンカン』

平成28年2月2日

福岡市西区吉武

大塚俊樹

皆さん、毎日の行動圏で樹洞を見かけますか。都市の街路樹、あるいは公園ではあまりというかほとんどみることがなくなりました。樹洞のできるような大木がないようです。下記の写真は、大きなイチョウの幹にできた樹洞に出入りしていたヤマガラです。1/9に舞鶴公園で目撃。このような樹洞は、いろいろな生きものたちにとって、どんな存在なのでしょう。田字草



## ★都市公園で自然観察会 57★

春日公園で、いろいろな視点で植物や昆虫、野鳥などをゆっくりと観察します。

★日時 2月21日（日） 集合14時～解散16時

★場所 春日公園・自然かんさつ館〔旧公園管理センター〕

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX兼用]

Email kurabird-.tamura@nifty.com

**日本野鳥の会 福岡支部 主催**

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

2/21 (日) 3/20 (日) 天拝山探鳥会 (筑紫野市) 時間：9:00~12:00 集合：天拝山歴史自然公園 問合せ：090-7165-5026 (重松尚紀)	2/28 (日) 3/27 (日) 久末ダム探鳥会 (福岡町) 時間：9:00~12:00 集合：久末ダム多目的広場横 駐車場 (管理事務所下) 問合せ：0940-33-7846 (高原和幸)	3/6 (日) 今津探鳥会 (福岡市西区) 時間：9:00~12:00 集合：玄洋高校西側道路 問合せ：092-891-9005 (神園道男)
3/12 (土) 大濠公園探鳥会 (福岡市中央区) 時間：9:00~12:00 集合：ボート乗り場前 092-573-1827 (森健児)	3/13 (日) 和白海岸探鳥会 (福岡市東区) 時間：9:00~12:00 集合：JR 和白駅前公園 問合せ：092-606-0012 (山本廣子)	3/1 (火) 県営春日公園 (春日市) 時間：10:00~12:00 集合：旧公園管理センター前 問合せ：092-592-3423 (小野仁)

**日本野鳥の会 筑後支部 主催** <http://grosbeak.blog.fc2.com/>

第1日曜 花立山 (偶数月)  
甘木公園 (奇数月) 10時~12時  
第2日曜 高良山 9時~12時  
第3日曜 企画探鳥会  
第4日曜 濃施山公園等 9時~12時  
問合せ：上記ブログへ  
一般参加費：100円 (中学生以下無料)



三国丘陵の自然を楽しむかい 観察の様子

**三国丘陵の自然を楽しむ会 主催** <http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

3/5 (第1土曜日)  
自然観察会 (植物・昆虫・野鳥など)  
北筑後保健福祉環境事務所との合同観察会になります。会員以外の方は上事務所地域環境係 0942-30-1052 に申込を。  
集合：九州歴史資料館 2階研修室  
時間：9:15~12:30  
問合せ：092-920-3072 (松永紀代子)  
参加費：無料  
ブログ  
「三国丘陵の自然を楽しむ会」で検索  
観察会や様々な生きもの情報を載せています



2018年1月14日 小園和洋吉 びっしり凍った溜池 堰堤の積雪20cm 三国・松永



ノウサギの足跡 三国・松永

**和白干潟を守る会 主催****久留米の自然を守る会主催**

2/27 (土)  
守る会定例会議  
時間：10:30~13:00  
集合：和白干潟を守る会事務所  
問合せ：092-606-0012 (山本廣子)

2/27 (土)  
クリーン作戦 と自然観察会  
時間：15:00~17:00  
集合：海の広場 駐車場なし  
長靴・軍手があると便利  
問合せ：090-1346-0460 (田辺スミ子)

2/7 (日) 第425回例会  
総会と環境講演会と新年会  
時間：13:30 総会  
14:30 講演会  
「久留米の未来、そして世界の未来」  
講師：福岡生物産業開発研究所 田中研実氏  
場所：筑後川防災施設くるめウス  
参加費：無料 定員50名 要申込  
持ち物：筆記用具  
講演会終了後新年会 会場未定  
問合せ：090-1346-0460 (橋田沙弓)

「身近な植物」ボランティア養成講座  
2/27、3/26、4/30  
5/21  
場所：山川町王子宮駐車場  
3月のみ山本町柳坂バス停  
時間：9:30~12:00  
問合せ：090-1346-0460 (橋田沙弓)

**植物友の会 主催**

観察会はお問い合わせください。  
問合せ：092-575-3131 (北野星二)



# 2016年1月 私のデジカメ日誌より 本のむし

2016年の元日は、旧暦の11月22日でした。旧暦の元日は2月8日。今回は2月7日までのデジカメ日誌です。



1月4日(旧暦11月25日) 筑紫野市武蔵  
天拝山歴史自然公園と私たちがホオジロ谷と呼んでいた旧棚田の園地の景色である。筑紫野市はここに駐車場を造るといふ。ここは大宰府県立自然公園の指定地でもある。にもかかわらず、なぜこうも簡単に景観を崩そうとするのか、私には理解できない。

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/dazaifu.html>



1月24日(旧暦12月15日) 筑紫野市  
前日から降り続いた大雪に庭の金柑も綿帽子をかぶった。この日奇しくも赤穂浪士の討ち入りの朝である。



1月5日(旧暦11月26日) 春日市・県営春日公園  
ジョウビタキの♀。クスの実だろうか。一度呑み込んだものを吐き出して、このあと又呑んだ。食べすぎか？



1月7日(旧暦11月28日) 筑紫野市  
トモエガモの♂。国、県とも絶滅危惧Ⅱ類指定である。現在50万羽まで増えたようだが、日本への飛来数は変わらないらしい。春には北極圏まで行くらしい。  
<http://www.wbsj.org/activity/press-releases/press-2012-09-07/>



← 2月3日(旧暦12月25日) 福岡市西区瑞梅寺干潟  
干潟の表面にカモの足跡がくっきり。干潟を薄いバイオフィルムが覆っているのが解る。鳥たちの大切な食べ物だ。

くすのき 2016年2月号投稿原稿-本のむし  
Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

## 窓越しの自然観察 ⑩

19日の積雪がまだ残るのに、年明けの暖かさを埋め合わせてく数十年ぶりという寒波到来。気象観測の対象とされないこの地域は、状況が報じられることもない為、平野部からの人達や、時として同じ町内でも南斜面の住人を瞠目させるに十分な景色へと変貌、放置竹林までがこれに雅趣を添えます(と、めでたばかりいられないのですが)。

この地に住むようになって幾度も雪に埋もれる冬を経験しましたが、今年の雪は上質で、量も多く、ヤマモミジの細い小枝にも、しっかりと積み上げて見事。



庭周辺を餌場になっている

ジョウビタキ(今年の隣鳥は♀)が、辛うじてナンテンや凍ったサネカズラの実をついばみ足跡とともに何やらの種を土産に置いていきます。

数十羽のツグミが、クスノキで大騒動。何を争っているのでしょうか？ たっぷり積もった雪を吹き飛ばしてしまう強風にも、大揺れに揺れながらも耐えて、しっかりと枝先にしがみついています。水場がないと、雪を食べるのですね。ガツガツと！ 冷たさは感じないのかと驚きました。

(ダムサイト住人 2016/1/25 記)

### ・ネイチャーガイド・オオムタ「自然案内人」会報第12号 2016年1月の概要

会員の松永 公幸さんが日頃の活動の場であるネイチャーガイド・オオムタの会報を送ってくれました。その内容の一部を紹介します。ナイス事務局

・ある感動(会長 柿川 和機)

ぼくの大せんぱい、かき川先生 玉川小 5年 大空 勇翔

大空君の作文の中に、「いつも何げなく通っていて、気がつかない玉川校区の自然について、かき川先生といっしょに、学ぶことができました。」とあり、こういう感想を持ってもらえる自然観察会を続けている「自然案内人」に乾杯です。

・堂面川の源流を訪ねてウォーキング(平成27年6月21日) 松永 公幸

・ムササビ観察会(平成27年8月16日)

・「ワクワク展」工作教室コーナー雑感

(平成27年8月21日～25日) 甲斐 隆康

・ウグイスの囀りについて 佐藤 政明

・新称 バージニアツククサ 中島 健晴

・天草日帰り研修会(白嶽森林公園内 白嶽湿地)

(平成27年9月27日) 江浦 俊彦

・**姫島(大分県)のアサギマダラ**(平成27年5月26日)

横山 喜代子(5ページ参照)

・春の野草を食べよう(平成27年4月12日) 小原



子どもたちに何とかムササビを見せてあげたい



夏の一夜の思い出に





みつけ海岸のアサギマダラ



スナビキソウの枯れた葉や茎などを吸っているアサギマダラのオス



姫島でマーキングされたアサギマダラ



オス



メス



スナビキソウ

オスには黒い斑（性票）がありメスにはない

横山喜代子

## 春日公園 自然観察会

2016年1月17日(日) 14:00~16:00 雨 参加者2人

冬の雨の中、この時季の樹木の芽を観察しました。早春の穏やかな日和を迎えるための大雨かも。春のきざしを探して、散策しましたよ。

水滴の滴り落ちるアメリカフウの芽、何枚もの皮で包まれ、硬そうで、芽吹く春までまだまだのようです。サンゴジュの芽は来るべき春に向けて、万歳の姿を見せていた。タブの芽は、晩秋に比べ膨らみを増していた。



葉は落ちて丸裸、しかし、花芽、葉芽が膨らみ始めている中、1輪鮮やかな黄色の花を見かけた。レンギョウである。この時季、冬芽の姿や表情は面白いですね。

途中、スズカケの幹に大きな穴、樹洞を見かけた。こういう樹洞、いろいろな生きものが活用しているらしい。どんな生きものが用いているのでしょうか？



冬はやっぱり冬芽・葉痕でしょう。とO氏が言っていたことを思い出す。

<報告：でんじろう>

